

当院採用の糖尿病注射薬一覧（インスリン：プレフィルド製剤）

※用法・用量等、詳細は最新の添付文書でご確認ください。

		製剤名		
分類	作用動態モデル	プレフィルド製剤（使い捨て型）		
		ノボ ノルディスクファーマ	日本イーライリリー、他	サノフィ
食事開始時				
		フィアスプ注フレックスタッチ	ルムジエブ注ミリオペン	ルムジエブ注ミリオペンHD
超速効型				
		ノボラピッド注フレックスタッチ 外	ヒューマログ注ミリオペン 外	ヒューマログ注ミリオペンHD 限
速効型				
混合型				
		ノボリン30R注フレックスペン ★外	ヒューマリン3/7注ミリオペン ★外	
配合溶解				
		ノボラピッド50ミックス注フレックスペン ★外	ヒューマログミックス25注ミリオペン ★外	ヒューマログミックス50注ミリオペン ★外
中間型				
		ライソデグ配合注フレックスタッチ		
持効型				
		ノボリンN注フレックスペン ★外	ヒューマリンN注ミリオペン ★外	
1日1回				
		レベミル注フレックスペン	インスリン グラルギンBS注ミリオペン「リリー」	ランタス注ソロスター 内限
週1回				
		トレスーバ注フレックスタッチ	インスリン グラルギンBS注キット「FFP」 （三和化学研究所） 限	ランタスXR注ソロスター ★空打ち3単位
持続型 + GLP-1				
		★週1回★ アウィクリ注フレックスタッチ 総量300単位 ★1クリック10単位 ★空打ち10単位		
持続型 + GLP-1				
		ゾルトファイ配合注フレックスタッチ		ソリクア配合注ソロスター 外

当院採用の糖尿病注射薬一覧（インスリン：カートリッジ、バイアル製剤）

2025年6月改訂
愛媛大学医学部附属病院
薬剤部 薬品情報管理室

外 は院外専用 限 は診療科または患者限定採用 ☆ は懸濁しているため攪拌の操作が必要

※用法・用量等、詳細は最新の添付文書でご確認ください。

分類	作用動態モデル	製剤名					
		カートリッジ型			バイアル製剤（1000単位/10mL/V）		
		ノボ ノルディスクファーマ	日本イーライリリー	サノフィ	ノボ ノルディスクファーマ	日本イーライリリー	サノフィ
カートリッジ型 専用注入器 (院内処方限定)		 ノボペンエコープラス	 ヒューマペンサビオ	 イタンゴ			
急速効型	食事開始時	 フィアスプ注ベンフィル 外 限			 フィアスプ注	 ルムジエブ注	
	食直前	 ノボラピッド注ベンフィル 外	 ヒューマログ注カート 外	 インスリン リスプロBS注 カートHU「サノフィ」 外 インスリン アスパルトBS注 カートNR「サノフィ」 外	 ノボラピッド注 外 限	 ヒューマログ注 外	 インスリン リスプロ BS注HU 「サノフィ」 外  インスリン アスパルト BS注NR 「サノフィ」 外  アピドラ注
速効型	食前30分前		 ヒューマリンR注カート 外			 ヒューマリンR注	
混合型	食前30分前		 ヒューマリン3/7注カート ☆ 外				
持効型		 レベミル注ベンフィル 限  トレスiba注ベンフィル 外 限		 ランタス注カート 外 限			

参考:各添付文書

当院採用の注射針 一覧

	テルモ		日本ベクトン・ディッキンソン	ニプロ=ノボノルディスクファーマ
製剤写真		 限		 外
製剤名	ナノバスニードルⅡ 34G×4mm	ナノバスニードルⅡ Jr. 34G×3mm	マイクロファインプラス31G×5mm	ペンニードルプラス32G×4mm
包装	14本/袋×5袋/箱(=70本)	14本/袋×5袋/箱(=70本)	14本/袋×5袋/箱(=70本)	14本/袋×5袋/箱(=70本)

参考:各添付文書

当院採用の糖尿病注射薬一覧（GLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬）

※用法・用量等、詳細は最新の添付文書でご確認ください。

		一般名	商品名	製剤写真	用法・用量				針の処方	空打ち
					開始用量	増量方法	維持用量	最大用量		
GLP-1 受容体 作動薬	1 日 1 回	リラグルチド	ビクトーザ皮下注18mg		1日1回0.3mg 朝又は夕	1週間以上の間隔で 0.3mgずつ	1日1回0.9mg 朝又は夕	1日1回1.8mgまで	要	注射前毎回
	週 1 回	セマグルチド	オゼンピック皮下注2mg		週1回0.25mg	4週間以上の間隔で	週1回0.5mg	週1回1.0mgまで	要	開封時のみ
		デュラグルチド	トルリシティ皮下注0.75mgアテオス		週1回0.75mg、患者の状態に合わせて週1回1.5mgに増量可 注) 週1回1.5mgへの増量については、 「トルリシティ皮下注1.5mgアテオス」(※2025/7/30発売予定) が必要です(2本打ち不可)				週1回1.5mgまで	不要
GIP/GLP-1 受容体 作動薬	週 1 回	チルゼパチド	マンジャロ皮下注2.5mgアテオス	     	週1回2.5mg	4週間以上の間隔で 2.5mgずつ	週1回5mg (適宜増減)	週1回15mgまで	不要	不要
			マンジャロ皮下注5mgアテオス							
			マンジャロ皮下注7.5mgアテオス							
			マンジャロ皮下注10mgアテオス							
			マンジャロ皮下注12.5mgアテオス							
			マンジャロ皮下注15mgアテオス							

参考:各添付文書

当院採用の肥満症注射薬一覧（GLP-1受容体作動薬・GIP/GLP-1受容体作動薬）

		一般名	商品名	製剤写真	用法・用量				針の処方	空打ち				
					開始用量	増量方法	維持用量	最大用量						
GLP-1 受容体作動薬	週1回	セマグルチド	ウゴービ皮下注0.25mg SD		週1回0.25mg	4週間以上の間隔で 0.5, 1.0, 1.7, 2.4mgの順に増量	週1回2.4mg (適宜減量)	週1回2.4mgまで	不要	不要				
			ウゴービ皮下注0.5mg SD											
			ウゴービ皮下注1.0mg SD											
			ウゴービ皮下注1.7mg SD											
			ウゴービ皮下注2.4mg SD											
GIP/GLP-1 受容体作動薬	週1回	チルゼパチド	ゼップバウンド皮下注2.5mgアテオス		週1回2.5mg	4週間以上の間隔で 2.5mgずつ	週1回10mg (適宜増減)	週1回15mgまで	不要	不要				
			ゼップバウンド皮下注5mgアテオス											
			ゼップバウンド皮下注7.5mgアテオス											
			ゼップバウンド皮下注10mgアテオス											
			ゼップバウンド皮下注12.5mgアテオス											
			ゼップバウンド皮下注15mgアテオス											

ウゴービ、ゼップバウンドの処方には、各添付文書・最適使用推進ガイドライン等をよくご確認ください

参考:各添付文書